

令和6年  
秋号

vol.49

# さくら

sakura



## ごあいさつ

第9回さくらえん納涼祭を7月20日（土）に開催いたしました。

天候が安定せず、開始直前にゲリラ豪雨に見舞われ、中止を判断するか否かという状況下でしたが、近隣の方々、ボランティアの方々、さくらえん職員に支えられ時間は短縮しましたが、無事に納涼祭を終えることができました。

準備では職員の主体性を尊重し、アトラクション等に関して意見を抽出し「何がやりたいか？」を追求できた納涼祭でした。

盆踊りも少しの時間ではありましたが、大いに盛り上がり、地域の方々や子ども達、職員に至るまで踊っている方々が非常に多く、私自身も忘れられない思い出となりました。

とは言え、次年度に向けた課題もあり、どのように活かし、より良いものにしていくか今から楽しみです。

あらためまして、さくらえん納涼祭に携わっていただいたみなさまへ感謝申し上げます。

ありがとうございました。今後も感謝の気持ちを忘れずに、地域に愛される「さくらえん」であるべく、努力を重ね成長してまいります。

納涼祭実行委員長 石井 美正



## 法人理念

「働き易い職場を創り、快適なサービスを提供する。」



# 敬老式典

令和6年9月16日（月）の敬老の日に第15回敬老式典を開催いたしました。ご多忙の中、小美濃市長にもご参列いただき、来賓の方々からもご祝辞をいただきました。賀寿のご利用者への花束贈呈では「綺麗な花ね」と笑顔で喜ばれておりました。式典は都立武蔵高等学校・附属中学校吹奏楽部の演奏プレゼントがあり、拍手と合いの手で会場が一体となり大変盛り上がりました。ご利用者の皆さまが健康で来年度もお祝いできることを祈念いたします。

実行委員長 小森谷恵一



## 納

## 涼

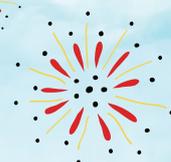
## 祭

7月20日（土）に、無事納涼祭を開催することができました。

開始直前には、急な雷雨に見舞われましたが、近隣の方々もたくさん遊びに来てくださり、ご利用者のみなさまも楽しんでいただけたようです。

浴衣を着たご利用者もいらっしゃり、夏の楽しい思い出になったと思います。

介護事業部第二課 黒川好美



## ショートステイ便り

# ショートステイで楽しむレクリエーション

さくらえんショートステイではジャムなどの空き瓶でスノードーム～夏 ver. ～を作りました。

参加されたご利用者にお好きなパーツを選んでいただき、瓶の蓋に貼ったメラニンスポンジに接着剤で貼っていただきました。

瓶の中に洗濯のりと水、お好きな色のラメやホロを入れて、蓋をしめたらあっという間に完成です。「玄関に飾るわね！」と喜んでいただけました。

介護事業部第四課 稲葉あずさ



## 特養活動紹介

# 香り湯

さくらえんでは今年度より毎月、さまざまなお風呂を体験していただける“香り湯”を実施しています。

7月は入浴の際に桃の香りがする入浴剤を使用し、ご利用者のみなさんに入浴を楽しんでいただきました。

みなさん「いい香りね、なんの匂い？」とお話をされて職員が「桃の香りがする入浴剤をお風呂に入れております」と、お伝えすると「そうなの、いい香りだから毎日でも嗅いでいたい」と話されており好評でした。

介護事業部第三課 鈴木崇史



いただきます！



「もう、うなぎの季節なのですね。」「好きですよ。うなぎ。」

土用丑の日にうなとろ井をお出しした際、ご利用者からいただいたお声です。

日本では、暑さに対する滋養強壮としてうなぎを食す風習があります。うなぎは、肌や目の健康を維持する役割を担う、ビタミンAが多い食材です。うなぎの蒲焼には、100g当たり1500 $\mu$ gのビタミンA（レチノール活性当量）が含まれています。これは、うなとろ井1食だけで、1日に必要なビタミンAをほぼ補うことができる量です。食欲が減退しがちな夏だからこそ、効率よく栄養を補い、元気をつけていただきたいです。（出典：日本食品標準成分表（八訂）増補 2023年）

総務課栄養係 井浦沙織

# 土用の 丑の日





現在、デイサービスの活動では体操や体を動かすレクリエーション、音楽会を軸に、ボランティアさんによる演奏・フラダンス鑑賞等を行っております。そんな中から今回は、7月に初めて実施した絵手紙の作成を紹介させていただきます。

「絵手紙の作成」に参加されたご利用者は殆どの方が未経験で、やった事のないものに取り組む楽しみ・ワクワク感に加え、「どんな物を作るんだろう」「自分に出来るかしら」と不安な様子がありました。そんな中で始まった活動。来園頂いたボランティアさんから丁寧に教わりながら時間を忘れて集中して画材の野菜を描かれ、無事に完成した際のご利用者の表情には達成感に溢れており輝いておりました。

新しい事に取り組む生き生きとした表情が印象的で、ご利用者にも良い刺激となった活動でした。職員一同、今後もご利用者に楽しんで頂けるような活動を提供できるようアイデアを出し合いながら邁進して参ります。

介護事業部第一課 川瀬修一



## 医務課コラム



「体は消耗品だね。機械みたいに部品交換したいよ。」昔リハビリを担当させていただいた患者さんがおっしゃっていた言葉です。

10年以上前の話ですが、当時から忘れられません。人体は容易に交換することはできません。心身ともに元気に過ごすためにも出来るだけ消耗を抑えることは大切です。

ただ、実は前記の患者さんは消耗した部分の楽しそうに話してくれました。長年好きで続けた仕事で使っていた部分で、ある種それが誇りのようでした。消耗することで、後悔することも満足することもあるのだなと思いました。

消耗することは致し方ないことですが、後悔ではなく満足できるような体の使い方をしたいですね。

医務課 馬場裕司

## ボランティア募集

ボランティアに興味がある、誰かの役に立ちたいと思っている方！未経験でも大歓迎です。

お話相手、お茶出し、レクリエーション補助、麻雀、カードゲーム、お掃除などきっとあなたにピッタリの場所が見つかります。まずはお気軽にお電話ください！

ボランティアのご相談

☎ 0422-51-5597 (担当：瀬戸口)

## さくら VOL.49



発行 社会福祉法人 徳心会  
特別養護老人ホームさくらえん 広報委員会  
〒180-0021 東京都武蔵野市桜堤2丁目8番31号  
TEL. 0422-51-5550 FAX. 0422-51-5807

発行人 園長 塩田勝  
編集人 広報委員長 小林真琴  
発行日 令和6年10月15日  
E-mail sakuraen@tokushinkai.jp  
H P https://tokushinkai.jp/



※写真につきましては、ご利用者およびご家族の了解を得て掲載しております。  
※撮影のため一部マスクをはずしております。

## こたじは



先日、自宅周辺の地域で突然の停電があった際の事。家族一同暗闇の中一瞬大騒ぎとなりましたが、日頃から各部屋に懐中電灯を備えていた為すぐに明かりを確保でき落ち着きを取り戻せ、日頃からの備えは大事だなと実感した瞬間でした。

今日、各地でゲリラ豪雨や台風、地震など天災に悩まされる事が増えています。もしもの時のため、皆様も備蓄品やライトなど備えておく心安いですよ！

介護事業部第一課 川瀬修一